



(1) 秋季オープンキャンパス日程

令和7年（2025年）開催

【来場型】

10月18日（土）PM・10月19日（日）

（10月6日（月）17時より予約受付）

- ・学長講演
- ・入試説明会
- ・在学生が案内するキャンパスツアー
- ・図書館見学（目白・戸山キャンパス）
- ・資料コーナー
- ・模擬講義（10/18のみ）
- ・教職員による個別相談コーナー（10/18のみ）
- ・学生による個別相談コーナー
- ・学生による企画（10/19のみ）

【オンライン】

10月6日（月）～11月7日（金）

- ・ミニ講義動画
- ・予備校講師による入試対策講座
- ・バーチャルキャンパスツアー

※詳細は大学HPをご確認ください。

(2) 学習院大学の一般選抜

3方式の活用で受験機会が拡大—

【コア試験】

- 全学部全学科で実施
- 試験科目は3科目
- いずれの学科も募集人員が最も多い

【プラス試験】

- コア試験日以外に、もう1日ある日程
- 試験科目は基本3科目（2科目の学科あり）

【大学入学共通テスト利用入学者選抜】

- 大学入学共通テストの成績のみで合否判定
- 試験科目は学部・学科で異なるため注意

▼Check：主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度の評価は？

Web出願時に、「受験生本人に関する内容」を100字以上500字以内で入力する（例：本学への志望動機、今までに行った調査・研究、印象に残った本・ボランティア活動など）。記載内容は入学後の学びをサポートするためのもので、合否には影響しない。また、調査書は合否判定に使用しない。



戸山キャンパス

独自の英語カリキュラムを通して、課題発見・解決力や実践的な英語力、多様性理解と異文化への対応力を身に着けることができます。

日本を学ぶ、世界を知る、英語で伝える新学部「国際文化交流学部」

2026年4月、学習院大学は、現在の学習院女子大学国際文化交流学部を6番目の学部として統合・共学化します。日本や海外の文化・社会を学ぶと同時に英語力を高める、ユニークな取り組みが特徴の学部です。

日本文化を学び、世界の多様な文化や国際社会を理解し、対話のための英語力を重点的に伸ばす専門科目と、政治経済・メディア・環境など幅広い課題を探索する学部共通科目で、人間と文化への深い洞察力を備え、文化交流と相互理解を通じて国際社会に貢献する人材の育成を目指します。また、言語習得だけではなく、体験を通じて現地ならではの多様な学びを実現する海外研修プログラム

ラムや、海外協定校とリアルタイムでコミュニケーションが取れる同時授業などが豊富に用意されています。

「全学共通科目」や「副専攻制度」で分野を横断して学ぶ

学習院大学では、学生の多様な興味に対応するため、他学部・他学科の分野も学習できる「基礎教養科目」群を開設しています。

所属学部・学科にかかわらず、自由な選択で他分野の最新の知見に触れられるほか、「キャリア・デザインⅠ・Ⅲ」「海外フィールド研修Ⅰ・Ⅲ」など自分と世界のかかわり方を考える科目も。更に「生命社会学」「宇宙利用論」といった、学習院ならではの文理融合科目で、インベーションへのまなざしを育てます。

2023年度から開始した「副専攻制度」はデータサイエンス、日本語教師養成、ジェンダー・スタディーズの現代に不可欠の3プログラムで、学部の専門に加えて、自身の興味に応じて強みを伸ばせます。

さらに、近隣4大学（学習院・早稲田・立教・日本女子）連携による単位互換制度「fCampus」も展開。大学の枠を超えて学ぶことができます。

究極の就職支援プログラム「メンター」

「就職に強い大学」としても定評があり、内定率は98.1%（2025



年3月時点。そこには、「キャリアセンター」が一人ひとりの学生と向き合い独自に展開する、きめ細かいサポート体制があります。新入生を対象としたキャリアアップセミナーに始まり、就職セミナーではワークショップを重視した議論型の講座を多く実施。「自ら考える力」伝える力「聴く力」を養います。就職支援プログラムは年間を通して100以上にのびます。

特筆すべきは、「メンター」こと「面接対策セミナー」。30年以上の歴史を持つ伝統行事で、社会で活躍するOB・OG講師と内定が決まった4年生サポーター計300名超が、就活を目前に控えた3年生に、仕事観を考えるきっかけを創り、就職活動の準備から心構えまでを伝授します。先輩から後輩へ、脈々と受け継がれてきた取り組みが、質の高い就職実績に結実しています。



1847年に京都御所日ノ御門前に開講された公家の教育機関、学習院を起源とする学習院大学。人文科学・社会科学・自然科学にわたる5学部17学科が「学びの杜」に集い、学生と教員がコミュニティの一員として対等に議論し、同じ興味を追究するのびやかな校風を一貫して守り続けています。2026年4月には新学部「国際文化交流学部」も加わりさらなる進化を続けます。

高い研究力に裏打ちされた専門性と分野を超える学際性をバランスよく修得し、分野と分野をつなぎ、共創をリードする「T型人才」を育てます。また就職の強さにも定評があり、多彩なキャリア支援を展開。「面接対策セミナー」は先輩・後輩の強い絆に支えられた特色あるプログラムです。

学習院大学

〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1 学長室広報センター TEL 03-5992-1008 <https://www.univ.gakushuin.ac.jp/>

分野や学年を超えた交流教授陣は各分野の第一人者

都心にあるながら緑豊かで広大な学習院大学のキャンパスは、由緒ある建造物や史跡が最先端の研究棟や教室棟と美しく調和しています。教壇に立つのは、「その分野の第一人者」として評価され、数多くの著名論文や受賞経験を持つ教授陣です。少人数教育のもと、教授や学生同士が近い距離間で最先端の知に触れることができる教育を行っています。

ハイレベルな学識・経験を持つ教員たちによる一人ひとりに目が届く指導と、学部や学年を超えて多様な友人と学び合う経験が、すぐれた分析力・思考力と表現力、そして確かな行動力を育みます。アットホームな学び舎は、さまざまな挑戦を後押しし、生涯の友人や恩師を得られる理想的な環境です。

2023年竣工東1号館

東1号館は、学ぶ人の視野をぐっと広げる「学びのハブ」機能を重視。

アクティブラーニングスペースを備えた大学図書館のほか、オープンな空間デザインにコミュニケーション・学習支援機能を盛り込み、学習環境の更なる進化を実現します。

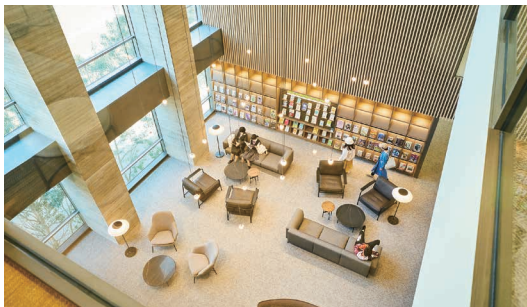
人文、社会、自然科学を網羅した充実の“学び”

いつの時代にも大切な「人間力」の育成を追求する学習院大学では、約70%の授業が1クラス30名以下（24年度実績）という少人数教育。きめ細やかで質の高い教育を実現しています。

「法学部」では法学科と政治学科の多彩な科目を相互に広く履修することができま。法学科では国家公務員1種試験や法科大学院進学を念頭に置いた演習科目などを開講。また、最短5年で司法試験を受験し、合格を目指す「法曹コース」も設置しています。一方、政治学科では、大学院との連携で、学部入学から5年間で修士号を取得できる「特別選抜コース」（FT course）を設置しています。

「経済学部」では、現代社会において解決を迫られているさまざまな問題に対して経済学・経営学の立場から多面的にアプローチ。専門分野に特化した独自の英語教育や、簿記検定の合格を目標とした資格系の科目など、実社会で役立つ講義も豊富です。

また、一流の研究者にして一流の教育者が揃う「文学部」では、豊か



東1号館